8 税に関する作文

令和7年度　全国納税貯蓄組合連合会会長賞

支えてくれてありがとう

北九州市立沖田中学校　三年　進藤　知佳

中学一年の冬、私は学校に行けなくなった。行けるようになった今でも、理由は分からない。自分でも、どうすればいいか分からないまま時間はどんどん過ぎていき、友達とどのように笑い合っていたのかも忘れてしまっていた。私一人が取り残されているように感じた。

そんな時、担任の先生が「ちょっとずつでいいよ」と言ってくださった。一見普通の言葉でも、その時の自分にとって、すごく救われた言葉だった。他の生徒がまだ登校していない朝早い時間に学校に行っていた時に、教科の先生も声をかけてくださった。スクールカウンセラーの先生も親身になって話を聞いてくださった。

学校には行けたものの、まだ教室に入るのは難しかった時、オンライン授業を勧められた。タブレットを通してクラスの様子をのぞくと、ザワザワとした自分のよく知る空気感にほっとした。

あとで知ったことだが、スクールカウンセラーや、オンライン授業の環境整備には、税金が使われている。先生方の働く環境、タブレットや通信整備、さらには義務教育そのものも税金が使われている。当時は、なんにも感じていなかったが、どれにもこれにも税金が関わっている。そのことにびっくりした。

私は、税金は道路や建物をつくるためだけのものだと思っていた。しかし実際には人と人との繋がりや、私たちの心の安全も支えている。もし税金がなければ、私が話を聞いてもらうことも、クラスの雰囲気を知るためのオンライン授業もなかったかもしれない。そう考えると、自分は一人ぼっちではなかったのだと思う。それも全て、税金が私と周りを繋げてくれたからだと思う。

あの時の支えがなければ、今の私はきっと学校には戻れていなかったかもしれない。少しずつ登校日を増やし、また友達と笑えるようになったのは、先生方の励ましと、税金があったからだ。私は初めて税金というものを身近に感じた。

今、私は消費税を払うという形だけで納税している。十パーセントでも高いと感じていた税金だが、中学生である私の心の支えになってくれた事を思うと、目には見えないこの十パーセントの力が、とてもありがたく、大切な物だと思った。

私は十五歳。働くようになれば、所得税や住民税も払うことになる。私の心を支えてくれたこの恩は、納税という形で返さなければならないと思う。自分の払う税金がこれから先、誰かの「居場所」や「やり直しのチャンス」になることを忘れたくない。

令和7年度　福岡国税局長賞

活きている税金

北九州市立緑丘中学校　三年　植松　玲南

「おかえり！」

「・・・・・・今朝、泣きそうになった。」

「どうしたん？」

「バスが渋滞に巻き込まれて、遅刻しそうになったんよ。明日から早いバスで行かんとヤバイ！ア～もう最悪！。」

部活動を終え、夜遅くに帰宅した高校生の姉は、「ただいま」も言わずに私と母に愚痴をこぼした。詳しく聞いてみると、どうも通学路での水道管か下水道管の緊急工事が原因で大渋滞になっていたらしい。言われてみると今年の初めに埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故の凄まじさは記憶に新しく、福岡県でも道路の陥没があったばかりだ。その上先日は、鎌倉市で水道管の破裂により一万世帯が断水になり地域の飲食店のほとんどが閉店に追い込まれたというニュースをみた。

私はこの異常な状況は私たち北九州市の身近なところにも潜んでいるのではないかと思うと少し不安で怖くなった。

北九州市に張り巡らされた上下水道管はそれぞれ総延長距離は、約 4500km 以上もあり、日本列島の 3 倍ほどの長さになる。人体の血管と同じように水道管が町中を走っていることを知って私は驚いた。そればかりかその水道管の耐用年数が管の種類や埋設環境によって多少の差はあるが、一般的に 40 年程だということも分かった。そしてこれらの水道管は高度経済成長期の頃に設置されておりその更新時期が目の前に迫っていることも知った。

私はこの水道管を人間の身体の血管に置き換えて考えてみた。水道管の破裂は動脈瘤の破裂やクモ膜下出血と同じだと思う。さらに水道管の水漏れや管内の腐食などによる破損は、脳や心臓の血管障害と何ら変わらないのではないだろうかと考え、私は恐ろしくなった。一日も早く改善しないと大変な事態を招くのが火を見るよりも明らかだからだ。

水道管は北九州市民の町の地下で物言わず私たち家族の日々の生活を一生懸命守ってくれていると分かり、一日でも早く水道管の検査をするべきだとつくづく思った。

北九州市も老朽化した下水道管の点検を五月末から始めたと聞きホッとしたが、これらの検査や交換のための費用は「上下水道使用料」だけでは到底足りず税金や国の補助金で賄われる。私は市民が納めた税金がこんなところで活きていることを初めて知った。

私たちは消費税をはじめ様々なことに対して税金を支払わなければならないという被害者的アレルギーがあるようにみえる。しかし私たち国民が納めた税金は決して無駄になっているわけではなく、形を変えて私たちの社会生活を安心安全に支えてくれているのだ。私は国民の三大義務の一つに「納税」があることの意味をしっかりと理解することが出来た。私も大人になったら税の良き理解者になり感謝を忘れない人間になりたい。